

第1章 平成23年度市町村地方公営企業決算の概要

はじめに

地方公共団体が行う事務は、大きく分けて一般行政事務と地方公営企業の経営の2つがあります。

一般行政事務は、その経費が基本的に税金で賄われるのに対し、地方公営企業は独立採算制を採用し、原則としてその経営に伴う収入によって経費が賄われます。

そのため、地方公営企業は、その経済性を発揮して能率的、合理的な経営を行うとともに、最少の経費で最良のサービスを提供することが求められています。

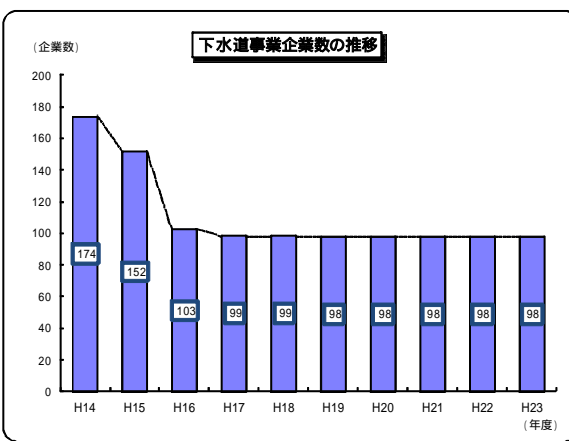
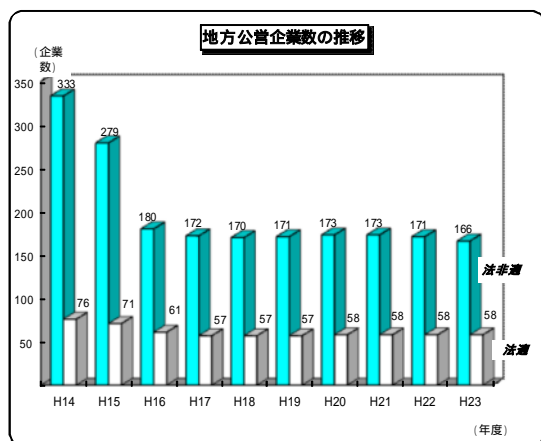
このたび、平成23年度地方公営企業決算状況調査がまとまりましたので、その調査結果の概要についてご紹介します。

1 事業の種類と企業数

平成23年度末現在で、県内42市町村・6一部事務組合等が経営する地方公営企業は、地方公営企業法適用企業¹(以下「法適用企業」という。)が7事業58企業、同法非適用企業(以下「法非適用企業」という。)が9事業166企業あり、法適用企業と法非適用企業の全体で11事業224企業であり、前年度と比較して5企業減少となっております。

地方公営企業企業数

区分・年度	法適用企業											事業名	法非適用企業											合計										
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H14		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23			
上水道	52	47	41	38	38	38	38	38	38	38	38	簡易水道	72	56	28	26	24	24	24	24	23	23	124	103	69	64	62	62	62	62	61	61		
交通	1	1	1									交通												1	1	1								
電気												電気	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
病院	16	15	13	13	13	13	13	13	13	13	13	病院												16	15	13	13	13	13	13	13	13	13	
下水道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	下水道	173	151	102	98	98	97	97	97	97	97	97	174	152	103	99	99	98	98	98	98	98	
市場	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	市場	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
と畜場												と畜場	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
観光	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	観光	22	19	14	12	12	13	14	14	13	9	9	25	22	15	13	13	14	15	15	14	10	
宅地造成												宅地造成	4	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	4	
駐車場												駐車場	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	
介護	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	介護	44	32	14	14	14	15	15	15	15	14	14	46	35	17	17	17	18	18	18	18	17	
その他							1	1	1	1	1	その他																			1	1	1	
計	76	71	61	57	57	57	58	58	58	58	58	計	333	279	180	172	170	171	173	173	171	166	166	409	350	241	229	227	228	231	231	229	224	



1 「法適用企業」と「法非適用企業」

地方公営企業法が適用されると、その経理は複式簿記を用いる企業会計方式に従うこととなり、減価償却等の考え方が導入され、損益計算書、貸借対照表等の財務諸表を作成します。

一方、地方公営企業法の適用がない地方公営企業は、特別会計を設けて経理を行いますが、その経理は普通会計と同様の官庁会計方式です。

2 決算規模

地方公営企業の決算規模とは、企業経営に伴う建設投資額、企業債元利償還金、人件費、材料費、修繕費などに要した支出額の合計で、普通会計の歳出総額に相当するものです。

平成23年度の地方公営企業の決算規模は、2,193億5百万円で前年度比0.3%減となっています。

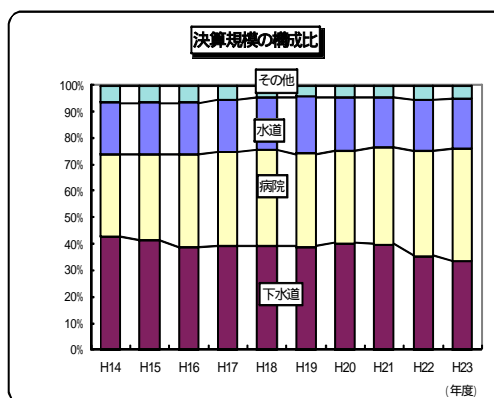
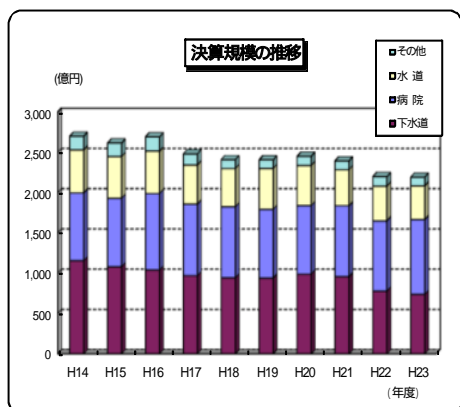
決算規模が大きい主な事業をみると、病院事業が929億53百万円（地方公営企業全体の構成比42.4%）で最も大きく、前年度比6.6%増となっています。次いで、下水道事業が739億30百万円（構成比33.7%、前年度比5.1%減）、水道事業が418億20百万円（構成比19.1%、前年度比3.1%減）となっており、これら3事業で全体の95.2%を占めています。

なお、普通会計の歳出合計を100とした場合の地方公営企業の決算規模の割合は27.6（前年度:27.4）となっています。

決算規模

		【決算額】											【対前年度増減率】											(単位:百万円、%)	
事業名・年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23					
地方公営企業合計	水道	53,571	51,948	52,696	48,645	47,489	50,862	49,820	44,705	43,165	41,820	7.4	3.0	1.4	7.7	2.4	7.1	2.0	10.3	3.4	3.1				
	交通	1,367	1,113	1,160								10.0	18.6	4.3	皆減										
	電気	128	208	170	189	164	197	153	168	146	163	22.8	62.0	18.2	11.4	13.5	20.5	22.5	9.7	13.0	11.6				
	病院	84,066	85,011	94,962	88,939	88,168	85,363	85,159	88,169	87,224	92,953	5.3	1.1	11.7	6.3	0.9	3.2	0.2	3.5	1.1	6.6				
	下水道	115,780	108,174	104,146	97,081	94,422	94,147	98,896	95,759	77,927	73,930	4.5	6.6	3.7	6.8	2.7	0.3	5.0	3.2	18.6	5.1				
	市場	1,577	1,519	1,492	1,831	1,228	1,139	1,151	1,127	1,302	996	19.7	3.7	1.8	22.7	32.9	7.3	1.1	2.2	15.6	23.5				
	と畜場	635	444	430	435	443	480	536	456	452	481	54.5	30.1	3.2	1.4	1.9	8.3	11.6	14.8	1.0	6.5				
	観光	3,790	3,667	4,977	3,729	2,751	2,529	2,640	2,467	2,473	2,303	8.2	3.2	35.7	25.1	26.2	8.1	4.4	6.5	0.2	6.9				
	宅地造成	1,270	976	574	622	518	302	219	328	1,256	594	16.2	23.2	41.2	8.4	16.7	41.7	27.5	49.5	283.4	52.7				
	駐車場	908	957	1,477	1,028	985	945	971	1,250	935	1,005	14.9	5.4	54.4	30.4	4.1	4.1	2.7	28.7	25.1	7.4				
	介護	7,169	7,805	7,333	5,826	5,014	4,949	4,909	4,619	4,593	4,450	2.2	8.9	6.0	20.6	13.9	1.3	0.8	5.9	0.6	3.1				
	その他							765	594	587	610								皆増	22.3	1.2	3.9			
	計A	270,261	261,821	269,417	248,324	241,183	240,913	245,218	239,641	220,060	219,305	2.6	3.1	2.9	7.8	2.9	0.1	1.8	2.3	8.2	0.3				
普通会計歳出総額B	798,720	798,672	781,727	755,234	740,698	743,407	750,456	811,096	803,638	795,380	1.4	0.0	2.1	3.4	1.9	0.4	0.9	8.1	0.9	1.0					

		【事業別構成比】											(単位:%)								
事業名・年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	
地方公営企業合計	水道	19.8	19.8	19.6	19.6	19.7	21.1	20.3	18.7	19.6	19.1										
	交通	0.5	0.4	0.4	-	-	-	-	-	-	-										
	電気	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1										
	病院	31.1	32.5	35.2	35.8	36.6	35.4	34.7	36.8	39.6	42.4										
	下水道	42.8	41.3	38.7	39.1	39.1	39.1	40.3	40.0	35.4	33.7										
	市場	0.6	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5										
	と畜場	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2										
	観光	1.4	1.4	1.8	1.5	1.1	1.0	1.1	1.0	1.1	1.0										
	宅地造成	0.5	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.6	0.3										
	駐車場	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5										
	介護	2.7	3.0	2.7	2.3	2.1	2.1	2.0	1.9	2.1	2.0										
	その他							0.3	0.2	0.3	0.3										
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0										
普通会計に対する割合A/B	33.8	32.8	34.5	32.9	32.6	32.4	32.7	29.5	27.4	27.6											



3 建設投資額

建設投資額とは、企業の経営活動に伴い発生する支出の中で、その支出の効果が1事業年度を超えて長期にわたるもののうち、施設の整備や拡充を図るための支出のことです。

平成23年度の地方公営企業の建設投資額は、453億75百万円で前年度比1.8%減となり、2年連続で減少しています。

事業別にみると、下水道事業が195億29百万円(地方公営企業全体の構成比43.0%)で最も大きく、前年度比15.2%減となっています。次いで、水道事業が130億73百万円(構成比28.8%、前年度比5.4%減)、病院事業が118億13百万円(構成比26.0%、前年度比60.0%増)となっています。

なお、普通会計の普通建設事業を100とした場合の地方公営企業の建設投資額の割合は40.7(前年度:37.0)となっています。

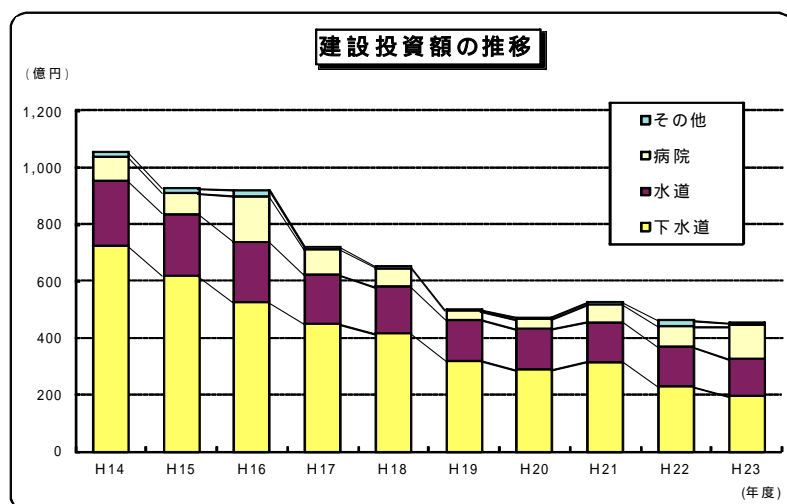
建設投資額

[決算額] (単位:百万円、%)

事業名	年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H23 - H22 (増減額)
		地方公営企業合計	水道	22,844	21,909	21,303	17,360	16,698	14,371	14,149	13,951	13,813
	交通	2										
	電気	2										
	病院	8,439	7,381	16,024	9,079	6,436	3,065	3,526	6,249	7,382	11,813	4,431
	下水道	72,524	61,687	52,581	44,781	41,432	32,050	28,941	31,588	23,024	19,529	3,495
	市場	44	38	18	42	126	81	15	139	330	4	326
	と畜場	241	47	17	13	38	29	72	19	5	22	17
	観光	267	410	971	405	94	156	156	204	325	233	93
	宅地造成	858	526	71	268	190	11	8	41	1,190	508	682
	駐車場	93	48	492	19	13	15	35	56	71	124	53
	介護	99	677	566	18	85	207	73	167	66	60	6
	その他							242	2	16	9	6
	計 C	105,414	92,722	92,044	71,984	65,112	49,983	47,216	52,416	46,221	45,375	846
	普通建設事業費 D	195,059	178,514	154,849	130,540	125,954	121,335	120,866	141,541	124,851	111,606	13,245
	C/D	54.0	51.9	59.4	55.1	51.7	41.2	39.1	37.0	37.0	40.7	

[対前年度増減率] (単位:%)

事業名・年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
地方公営企業合計	16.6	4.1	2.8	18.5	3.8	13.9	1.5	1.4	1.0	5.4
	水道	66.5	皆減							
	交通	96.4	皆減							
	電気	105.7	12.5	117.1	43.3	29.1	52.4	15.0	77.2	18.1
	病院	11.2	14.9	14.8	14.8	7.5	22.6	9.7	9.1	27.1
	下水道	185.4	15.0	52.4	133.0	203.1	36.1	81.7	838.5	137.7
	市場	77.5	80.7	62.5	25.2	187.9	23.7	151.0	73.5	73.6
	と畜場	12.1	53.3	136.8	58.3	76.9	66.6	0.3	30.8	59.0
	観光	1.9	38.6	86.5	277.0	28.9	94.2	22.7	382.1	2,808.7
	宅地造成	2,140.7	48.4	921.2	96.2	33.1	15.8	137.0	62.0	26.9
	駐車場	40.4	584.0	16.4	96.9	379.1	143.5	65.0	129.6	60.6
	介護							皆増	99.0	548.2
	その他	8.8	12.0	0.7	21.8	9.5	23.2	5.5	11.0	11.8
	計 C	4.4	8.5	13.3	15.7	3.5	3.7	0.4	17.1	11.8
	普通建設事業費 D									



4 企業債現在高

平成23年度末の企業債現在高は、7,114億35百万円で前年度比2.3%減となり、6年連続で減少しています。

事業別にみると、下水道事業が5,054億51百万円（地方公営企業全体の構成比71.0%）で最も大きく、前年度比2.9%減となっています。次いで水道事業が1,363億10百万円（構成比19.2%、前年度比3.5%減）、病院事業が580億51百万円（構成比8.2%、前年度比8.0%増）となっています。

普通会計の地方債現在高を100とした場合の地方公営企業の企業債現在高の割合は91.9（前年度：93.3）となっています。

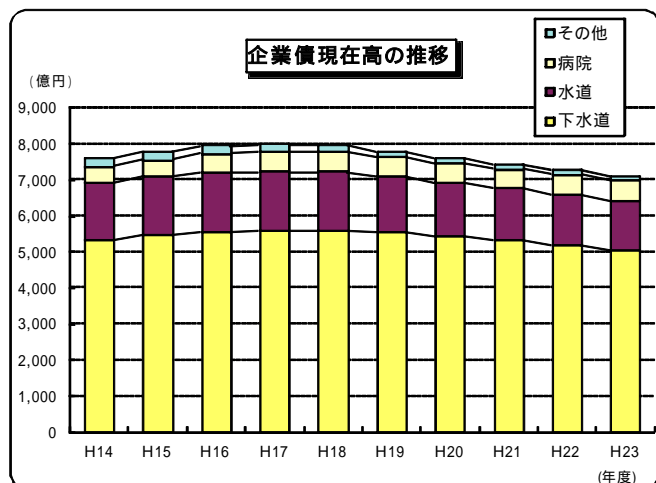
企業債現在高

〔決算額〕 (単位: 百万円、%)

事業名	年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H23-H22 (増減額)
		地方公営企業合計	水道	160,979	163,894	165,706	165,375	163,048	156,214	149,750	144,813	141,289
	交通											
	電気	677	613	548	476	402	326	248	168	87	36	51
	病院	42,937	45,050	51,519	55,004	54,991	52,874	50,972	51,281	53,741	58,051	4,310
	下水道	532,755	546,730	555,653	558,928	560,276	554,572	544,376	533,391	520,292	505,451	14,841
	市場	3,688	3,448	3,229	2,982	2,747	2,499	2,239	1,966	1,676	1,389	287
	と畜場	970	962	954	930	902	844	814	749	691	633	58
	観光	3,739	3,260	4,363	3,767	3,179	2,628	2,054	1,583	1,187	846	341
	宅地造成	2,024	1,838	1,402	1,096	811	549	378	177	1,306	1,744	438
	駐車場	6,204	5,925	5,895	5,559	5,219	4,866	4,484	3,886	3,527	3,152	375
	介護	7,265	7,346	6,636	5,822	5,550	5,396	4,940	4,543	4,040	3,616	423
	その他							271	242	223	207	16
	計 E	761,239	779,065	795,904	799,938	797,125	780,768	760,528	742,799	728,058	711,435	16,624
普通会計地方債現在高 F		780,312	813,899	830,761	832,516	824,162	805,187	785,742	779,039	780,208	774,169	6,039
E/F		97.6	95.7	95.8	96.1	96.7	97.0	96.8	95.3	93.3	91.9	

〔対前年度増減率〕 (単位: %)

事業名・年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	
地方公営企業合計	水道	1.5	1.8	1.1	0.2	1.4	4.2	4.1	3.3	2.4	3.5
	交通	皆減									
	電気	8.4	9.4	10.7	13.1	15.5	18.9	23.9	32.4	48.2	59.1
	病院	9.5	4.9	14.4	6.8	0.0	3.9	3.6	0.6	4.8	8.0
	下水道	5.0	2.6	1.6	0.6	0.2	1.0	1.8	2.0	2.5	2.9
	市場	5.4	6.5	6.4	7.7	7.9	9.0	10.4	12.2	14.7	17.1
	と畜場	11.2	0.8	0.9	2.5	3.0	6.4	3.5	8.1	7.7	8.4
	観光	13.6	12.8	33.8	13.6	15.6	17.3	21.8	23.0	25.0	28.7
	宅地造成	8.1	9.2	23.7	21.8	26.0	32.3	31.2	53.1	636.4	33.6
	駐車場	2.9	4.5	0.5	5.7	6.1	6.8	7.8	13.3	9.3	10.6
	介護	8.1	1.1	9.7	12.3	4.7	2.8	8.4	8.0	11.1	10.5
	その他							皆増	10.7	7.9	7.3
	計 E	4.1	2.3	2.2	0.5	0.4	2.1	2.6	2.3	2.0	2.3
普通会計地方債現在高 F		2.4	4.3	2.1	0.2	1.0	2.3	2.4	0.9	0.2	0.8



5 法適用企業の収支

法適用企業の平成23年度の収支状況は、7事業の合計で、純損益²が53億円の黒字となり、前年度と比べて4億2百万円の増となっています。黒字額全体が増加した主な理由は、病院事業の大幅な増益です。

黒字の事業は、上水道30億62百万円、病院17億55百万円、下水道3億63百万円、市場80百万円、介護サービス50百万円、その他27百万円の6事業で、黒字額は前年度より3億85百万円増加しています。

また、赤字の事業は、観光37百万円のみで、赤字額は前年度より17百万円減少しています。

なお、赤字の企業数は58企業中11企業であり、前年度と比べて1企業増加となっています。また、58企業中18企業が累積欠損金³を有しており、累積欠損金の総額は178億99百万円と、前年度より45百万円増加しています。

法適用企業 年度別経営状況

(単位:百万円、%)

区分・年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	
純 損 益	上水道	2,527	2,376	2,598	2,771	2,590	2,602	2,324	2,655	3,137	3,062
	交通	54	1	52	-	-	-	-	-	-	-
	病院	123	1,654	272	549	1,909	2,331	1,637	885	1,251	1,755
	下水道	1	359	26	119	138	62	8	269	364	363
	市場	8	12	37	31	12	28	11	76	107	80
	観光	120	31	40	29	18	16	32	71	54	37
	介護	145	119	117	76	48	51	81	91	77	50
	その他	-	-	-	-	-	-	0	24	16	27
合計	2,369	4,489	3,061	2,419	860	395	756	2,158	4,899	5,300	
累積欠損金	9,965	10,009	10,507	11,352	14,156	17,145	18,044	19,767	17,854	17,899	
総 収 支 比 率	上水道	109.0	108.6	109.4	110.1	109.4	109.3	108.4	109.9	111.8	111.5
	交通	96.1	99.9	105.7	-	-	-	-	-	-	-
	病院	99.8	102.1	100.3	99.3	97.7	97.2	98.0	98.9	101.6	102.2
	下水道	100.0	105.4	100.4	101.6	101.9	100.8	100.1	104.0	105.5	105.5
	市場	99.1	101.6	104.8	104.1	101.6	103.7	101.5	112.3	118.5	113.0
	観光	85.5	94.0	86.9	90.6	93.9	94.5	88.6	75.7	80.1	86.1
	介護	114.5	106.7	106.7	104.3	103.1	104.1	106.4	107.1	105.9	102.9
	その他	-	-	-	-	-	-	100.1	104.0	102.7	104.5
合計	102.1	103.8	102.6	102.0	100.7	100.3	100.6	101.8	104.2	104.5	

総収支比率 = 総収益 ÷ 総費用 × 100

2 「純損益」

一会計期間内における総収益と、これに対応する総費用との差額のことであり、その年度の経営成績を表しています。

純損益の数値がプラスであれば「純利益（黒字）」、マイナスであれば「純損失（赤字）」となります。

3 「累積欠損金」

営業活動で生じた純損失（赤字）のうち、繰越利益剰余金等でも補てんすることができなかった損失（赤字）額が累積したものです。

6 法非適用企業の収支

法非適用企業の平成23年度の収支状況は、9事業の合計で、実質収支⁴が25億8百万円の黒字となり、前年度と比べて2億49百万円の増となっています。

9事業全てにおいて黒字となっており、実質収支の黒字額を事業別にみると、下水道が15億86百万円で最も大きく、次いで、簡易水道2億99百万円、介護サービス2億92百万円となっています。

なお、赤字の企業数は166企業中3企業であり、前年度と比べて1企業増加となっています。

法非適用企業 年度別経営状況

(単位:百万円、%)

区分・年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	
実質収支	簡易水道	914	1,068	519	596	507	360	365	364	366	299
	下水道	2,613	2,684	1,874	2,314	1,947	1,842	1,738	1,288	1,259	1,586
	市場	52	49	55	23	25	15	10	25	9	16
	と畜場	13	11	13	34	38	42	25	18	10	17
	観光	114	86	76	62	90	127	178	168	169	139
	宅地造成	66	289	354	164	140	45	25	46	38	41
	駐車場	106	159	176	135	95	111	121	71	105	87
	電気	52	22	24	0	27	0	0	0	17	30
	介護	497	443	281	244	216	270	237	228	287	292
	合計	4,426	4,812	3,374	3,572	3,086	2,812	2,701	2,209	2,259	2,508
総収支比率	簡易水道	129.0	129.0	117.5	132.3	129.1	131.2	130.2	134.5	141.2	140.3
	下水道	107.9	109.8	108.9	109.6	132.3	145.6	146.8	154.8	159.5	160.8
	市場	111.3	113.2	110.0	124.2	117.4	115.0	111.8	111.4	112.6	110.4
	と畜場	107.4	112.0	114.4	115.1	121.5	119.3	110.6	115.1	107.8	116.8
	観光	106.1	104.9	105.5	111.3	115.9	102.8	120.6	122.5	119.1	114.3
	宅地造成	1,053.0	1,102.9	1,054.5	914.8	1,076.4	593.0	373.8	560.1	66.0	579.4
	駐車場	159.6	172.0	172.6	177.1	179.1	179.0	161.3	129.6	138.4	135.8
	電気	743.5	873.2	253.8	176.1	301.8	228.3	218.9	201.1	272.8	273.6
	介護	110.9	112.9	105.8	105.3	104.1	105.8	105.9	107.7	108.9	107.0
	合計	113.9	115.9	112.1	114.2	130.7	139.1	140.1	147.2	150.7	152.3

総収支比率 = 総収益 ÷ 総費用 × 100

4 「実質収支」

法非適用企業における決算額のことであり、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源を除いたものです。

実質収支がプラスであれば黒字、マイナスであれば赤字となります。

7 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による資金不足比率の状況

平成21年度から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が完全施行され、公営企業を経営する地方公共団体は、毎年度、公営企業会計ごとに資金不足比率（資金不足額の事業規模（料金収入等）に対する比率）を算定し、監査委員の審査に付した上で議会に報告し公表しなければならないとされました。

資金不足比率が経営健全化基準（20%）以上となった場合には、経営健全化基準以上となった要因分析や、経営健全化基準未達とするための方策等を内容とした経営健全化計画の策定が義務づけられ、経営健全化基準未達とすることが求められます。

<概要> 平成23年度決算による資金不足比率 ※
県内地方公共団体の公営企業会計（計180会計）において、資金不足額の発生した会計はありません。

※ 資金不足額は、地方公営企業法の規定を適用している特別会計及び地方財政法第6条に規定する政令で定める公営企業のうち法非適用企業（駐車場事業・介護サービス事業等は対象外）を対象に特別会計単位で算定するため、地方公営企業決算状況調査の対象事業数とは異なります。

○資金不足比率の算定方法

$$\text{資金不足比率（\%）} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業規模}}$$

・資金不足額（法適用企業）＝

（流動負債＋建設改良費等以外の財源に充てるために起こした地方債の現在高－流動資産）－解消可能資金不足額

・資金不足額（法非適用企業）＝

（繰上充用額＋支払繰延額・事業繰越額＋建設改良費等以外の財源に充てるために起こした地方債の現在高）－解消可能資金不足額

※ 解消可能資金不足額とは、事業の性質上、事業開始後一定期間に構造的に資金不足額が生じる等の事情がある場合において、資金の不足額から控除する一定の額

※ 宅地造成事業を行う公営企業については、土地の評価に係る流動資産の算定に関する特例があります

・事業の規模（法適用企業）＝営業収益の額－受託工事収益の額

・事業の規模（法非適用企業）＝営業収益に相当する収入の額－受託工事収益に相当する収入の額

※ 指定管理者制度（利用料金制）を導入している公営企業については、営業収益の額に関する特例があります

※ 宅地造成事業のみを行う公営企業の事業の規模については「事業経営のための財源規模」（調達した資金規模）を示す資本費及び負債の合計額となります